

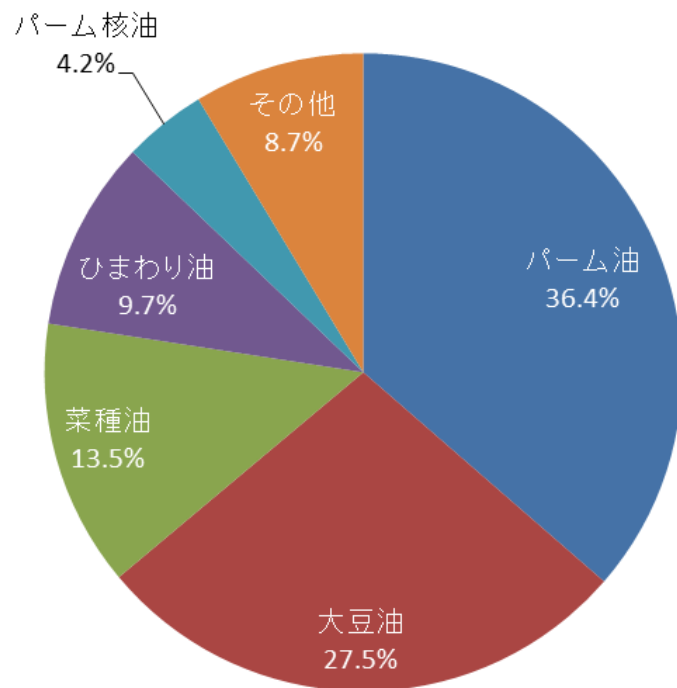
パーム油の課題と 東京大会における調達について

WWFジャパン 自然保護室森林グループ
南 明紀子



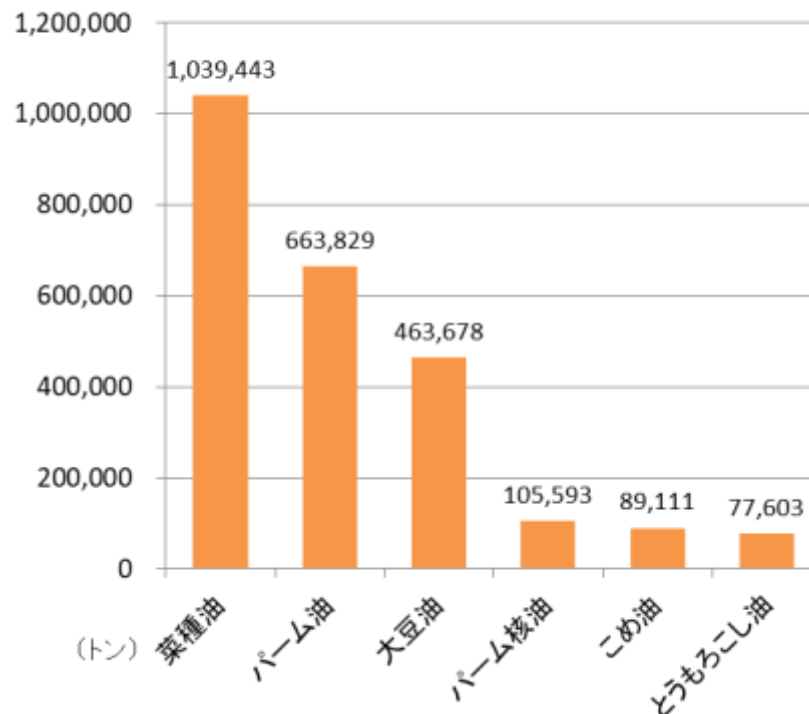
パーム油：世界一の生産量＝消費量

主要植物油脂の世界生産量(2018/19)



出典: USDA Oilseeds: World Markets and Trade

2015年国内植物油脂消費量



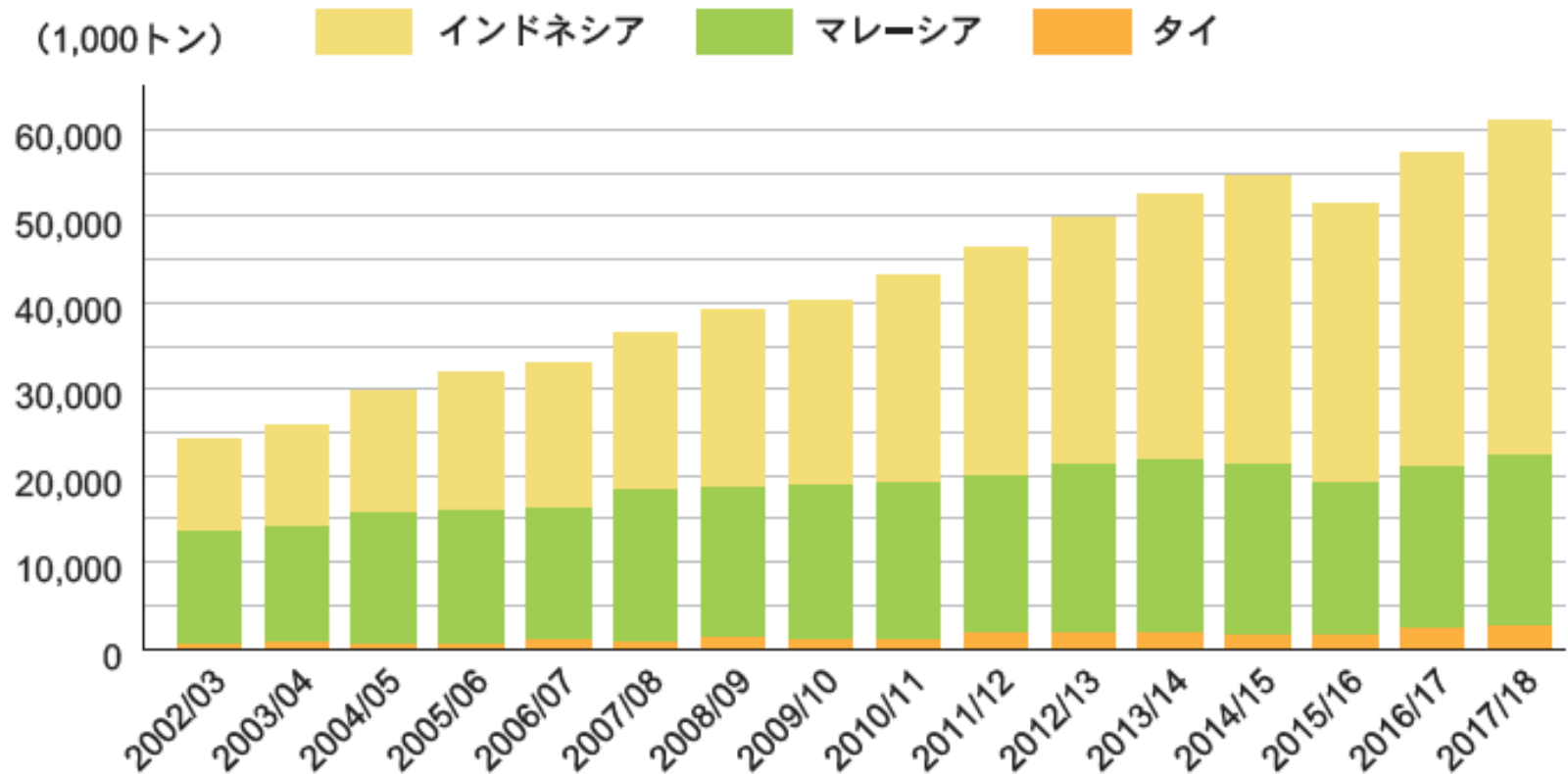
出典: 農林水産省「我が国の油脂事情」

■パーム油生産量は世界最大
日本においても、菜種油に続き2番目に消費量が多い



持続可能な日本のレガシー

パーム油の主な生産地は東南アジア



- インドネシアとマレーシアの生産量が約85%を占める
→急速な農園開発により森林伐採が深刻化



課題：泥炭湿地林の開発



© WWF Japan

泥炭湿地林の中に掘られた排水路（ボルネオ島）



持続可能な日本のレガシー



© WWF Japan

水を抜いた後に皆伐し植林する（ボルネオ島）



持続可能な日本のレガシー



© WWF Japan



持続可能な日本のレガシー

課題：泥炭火災による温暖化への貢献



© WWF Indonesia

国連環境計画(UNEP)の報告書によれば「アブラヤシの農園開発がマレーシアとインドネシアにおける熱帯林破壊の主な原因」としている
(2007年)

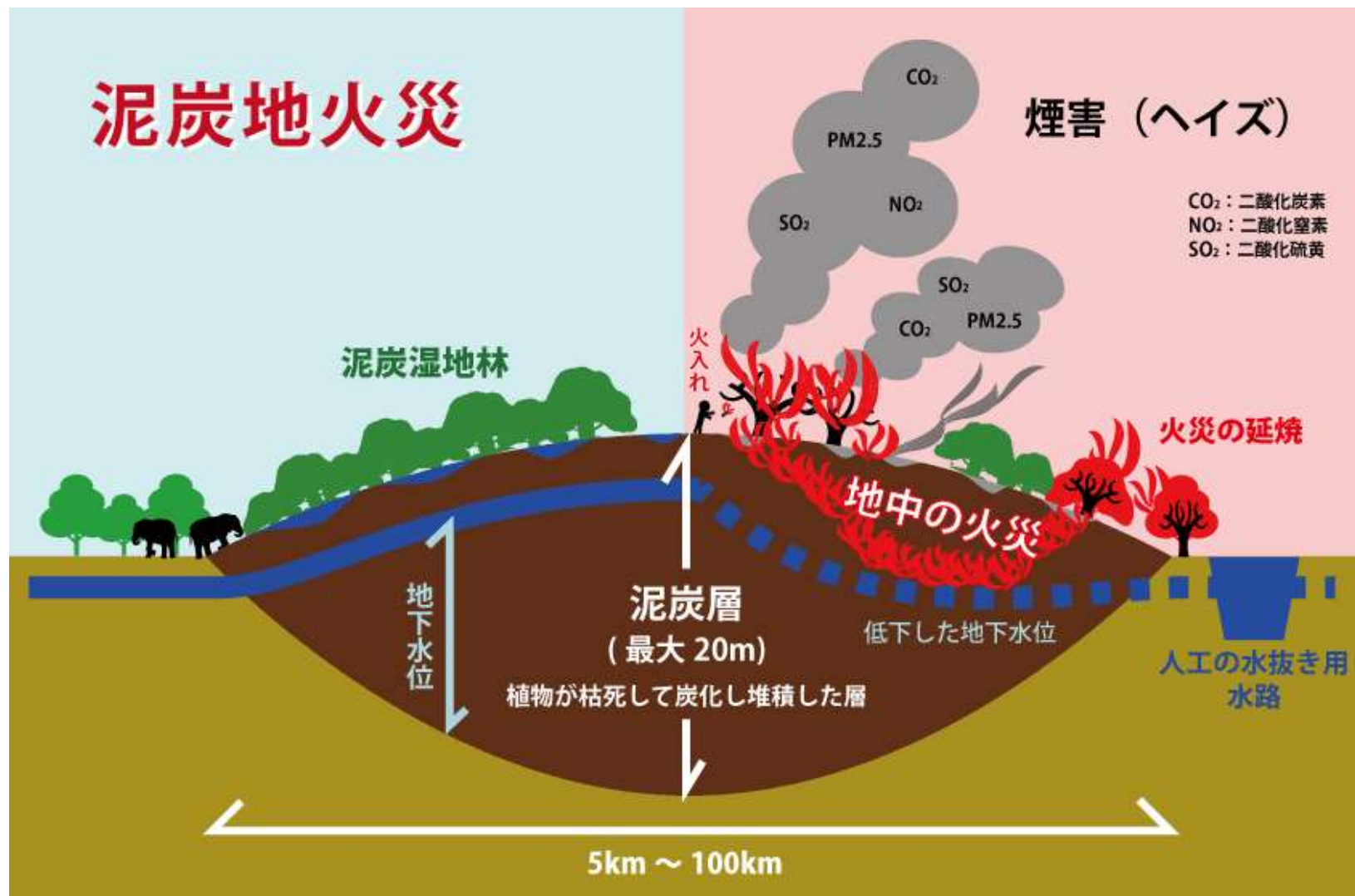


持続可能な日本のレガシー

泥炭地火災

煙害（ヘイズ）

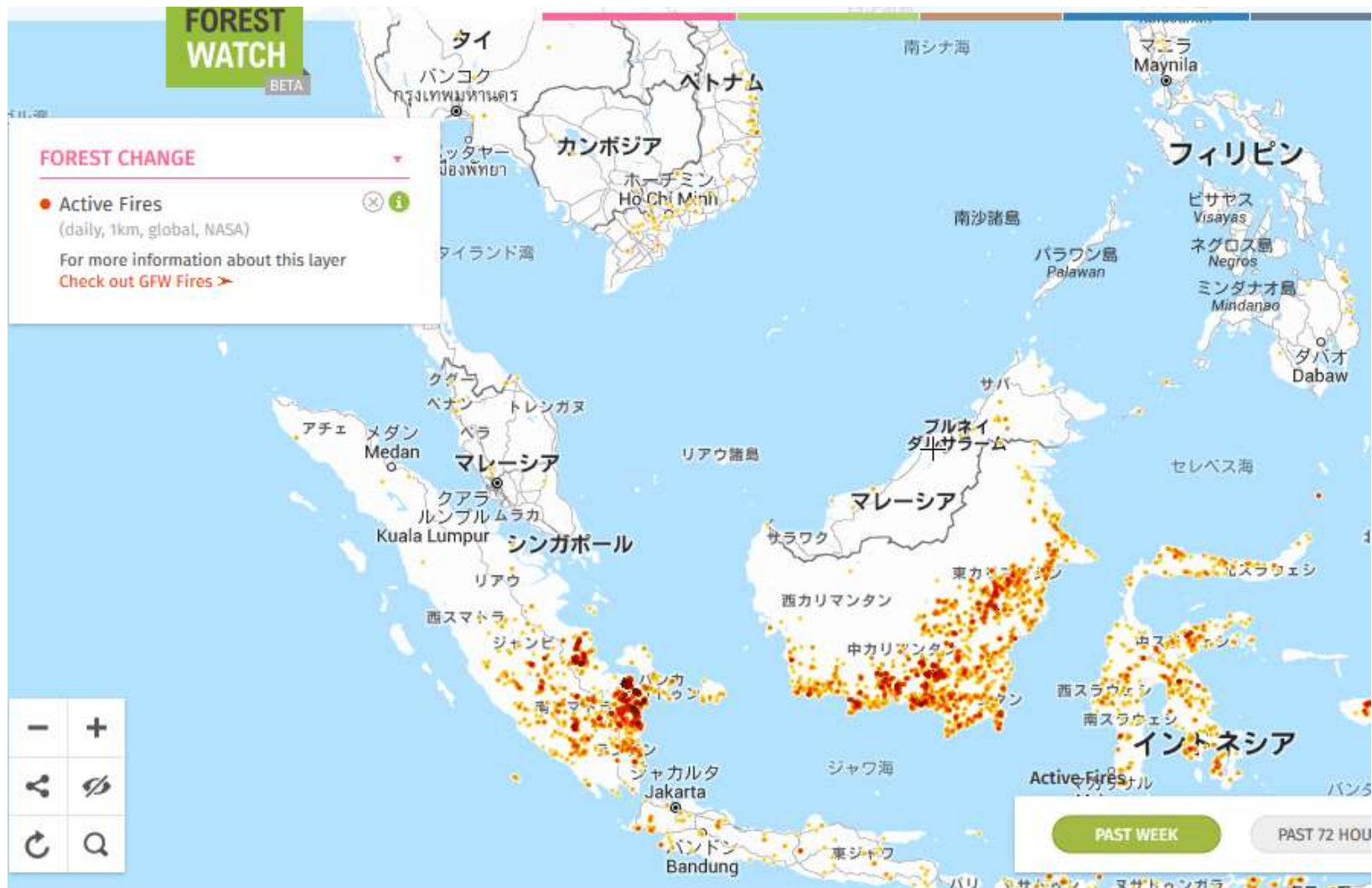
CO₂：二酸化炭素
NO₂：二酸化窒素
SO₂：二酸化硫黄



© WWF Japan



持続可能な日本のレガシー



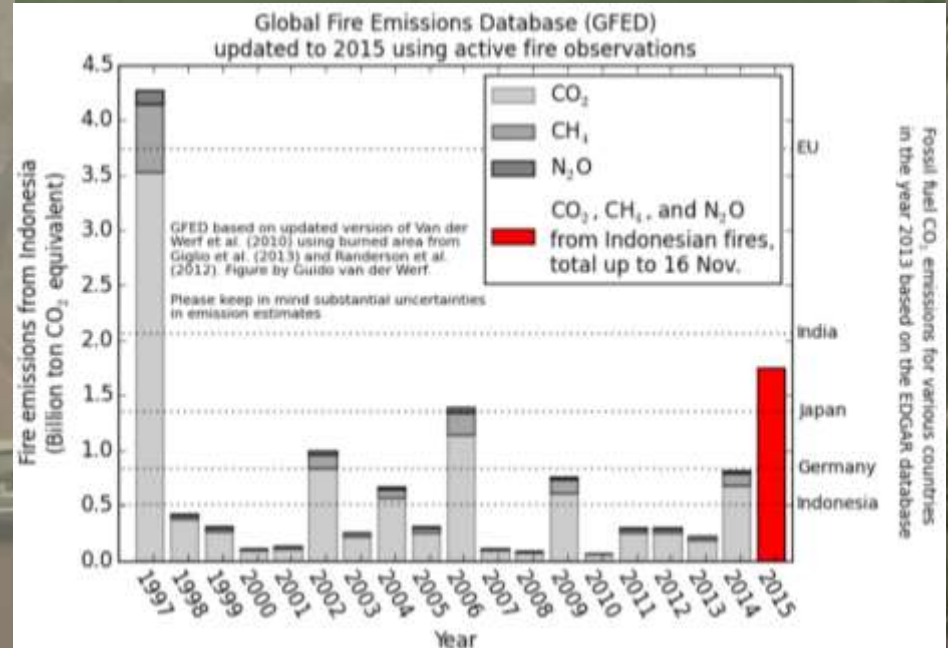
© Global Forest Watch

2015年9月28日～10月5日、1週間の発火地点



持続可能な日本のレガシー

＜泥炭火災の深刻化＞
野焼きにより毎年大規模火災が発生。
2015年11月16日時点で火災により
17.5億トンの温室効果ガス（CO₂換算）
が排出されたと推計。



出典: <http://www.globalfiredata.org/updates.html>

© WWF Indonesia

火災による煙はヘイズに（スマトラ島）



持続可能な日本のレガシー

東京大会におけるパーム油調達の課題 ポイント①コード名

調達コードの名前

持続可能性に配慮したパーム油を推進するための調達 基準

他の産品は？

- ・ 持続可能性に配慮した木材の調達基準
- ・ 持続可能性に配慮した農産物の調達基準
- ・ 持続可能性に配慮した畜産物の調達基準
- ・ 持続可能性に配慮した水産物の調達基準
- ・ 持続可能性に配慮した紙の調達基準

東京大会におけるパーム油調達の課題 ポイント②項目2「持続可能性」

環境面/社会面、最低限カバーすべき項目は規定されている

- ① 生産された国または地域における農園の開発・管理に関する**法令**等に照らして手続きが適切になされていること。
- ② 農園の開発・管理において、**生態系が保全**され、また、**泥炭地や天然林**を含む環境上重要な地域が**適切に保全**されていること。
- ③ 農園の開発・管理において、先住民族等の**土地に関する権利**が尊重され、事前の情報提供に基づく、自由意思による**合意形成**が図られていること。
- ④ 農園の開発・管理や搾油工場の運営において、**児童労働や強制労働**がなく、農園労働者の適切な労働環境が確保されていること。



東京大会におけるパーム油調達の課題 ポイント③項目3「担保方法」

3. 上記2の①～④の考え方に沿ってパーム油の生産現場における取組を認証するスキームとして、**ISPO、MSPO、RSPO**がある。

(1) これらの認証については、実効性の面で課題が指摘される場合があるものの、**小規模農家を含め幅広い生産者が改善に取り組むことを後押しする観点**から、これらの認証を受けたパーム油（以下、「認証パーム油」という。）を**活用できる**こととする。

- ・ 国際的に認知されている認証制度はRSPOのみ
- ・ ISPOとMSPOは現状「国内制度（＝合法性）」
- ・ 持続可能性ではなく、小規模農家等を応援するため、という理由でISPOとMSPOも認められている

Table 5. 人間が原因となる気候変動防止の評価(生物多様性への影響は間接的である)

IUCNによる比較

HCS(高炭素貯蔵)の森に言及しているか

ISCC EU 3	ISCC Plus 3	SAN 0	RSPO 3	MSPO 0	ISPO 0
--------------	----------------	----------	-----------	-----------	-----------

重要な炭素貯蔵地の保護を求めているか

1	1	1	3	0	1
---	---	---	---	---	---

パーム油生産のために泥炭地を土地転換することを防止しているか

3	3	2	3	0	1
---	---	---	---	---	---

すでにアブラヤシ農園に転換している泥炭地からのCO2排出を制限する方策を求めているか

1	1	0	3	0	2
---	---	---	---	---	---

土地利用変化に伴う温室効果ガスの排出のモニタリングと管理を求めているか

2	2	0	3	0	1
---	---	---	---	---	---

植付後の生産過程からの温室効果ガス排出のモニタリングと管理を求めているか

2	2	1	3	0	0
---	---	---	---	---	---

温室効果ガス排出量削減値を国家目標に連動することを可能にしているか

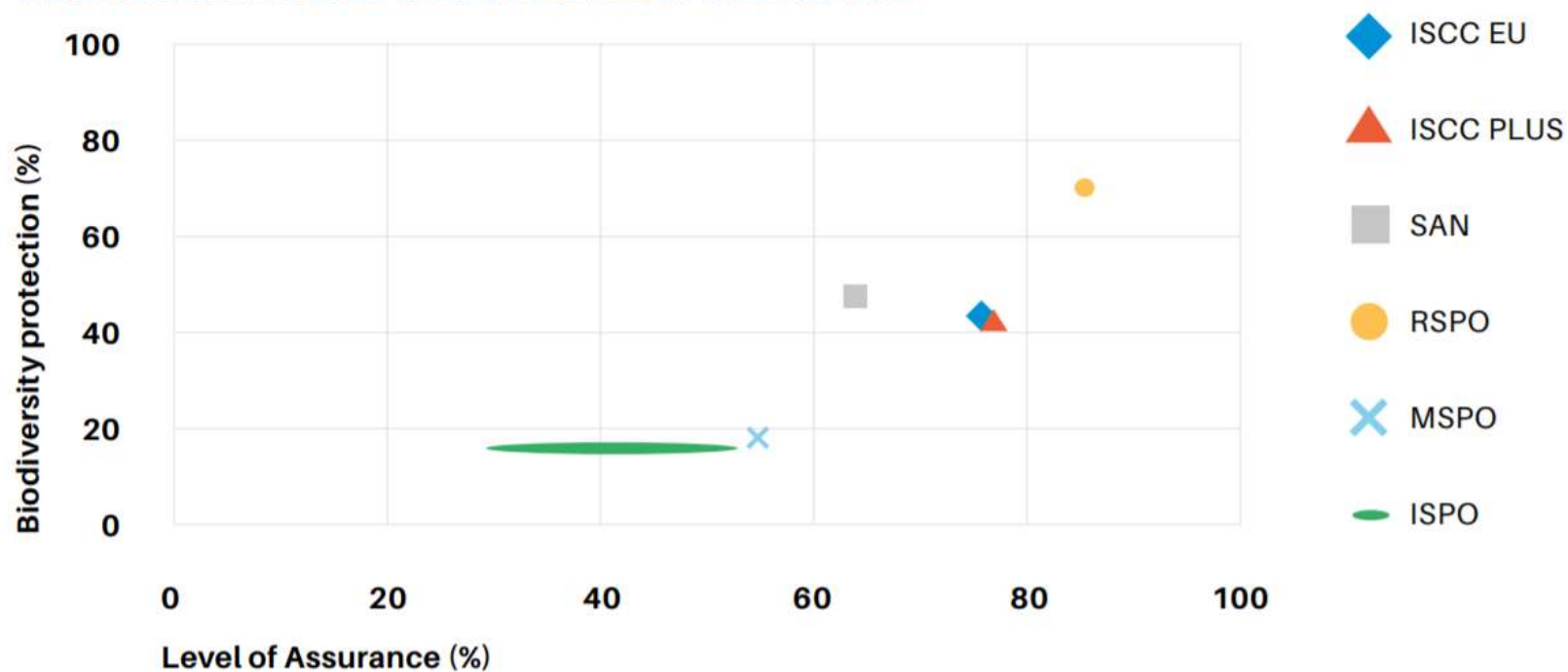
0	0	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---

LEGENDA

3	Strong
2	Good
1	Medium
0	Weak / non-compliant / non-existent
?	Information missing / not accessible
N.A.	Not applicable / relevant

https://www.iucn.nl/files/publicaties/iucn_nl_setting_the_biodiversity_bar_for_palm_oil.pdf

生物多様性の保全 対 担保のレベル



© IUCN

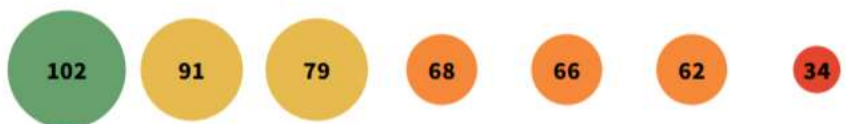


持続可能な日本のレガシー

B. Treatment of Smallholders

	RSPO	RSB	SAN	ISCC	HCS	MSPO	ISPO
Fair Treatment of Smallholders	3	2	2	1	0	2	0
Fair Credit for Smallholders	1	0	0	0	0	0	0
Fair Prices for Smallholders	3	0	2	1	0	0	0
Smallholders Access to Market	1	2	0	0	0	0	0
Total Score	8	4	4	2	0	2	0

RSPO RSB SAN ISCC HCS MSPO ISPO



Forest Peoples
Programmeによる比較

http://www.forestpeoples.org/sites/default/files/documents/Palm%20Oil%20Certification%20Standards_low_res_spreads.pdf

https://www.gpn.jp/assets/pdf/files/EXECUTIVE%20SUMMARY_J_GPN.pdf



持続可能な日本のレガシー

東京大会におけるパーム油調達の課題

ポイント④項目5「グリーンバンスメカニズム」

5. サプライヤーは、上記 1の対象のうち、上記 3または4に該当するパーム油が使用されているものについて記録した書類を東京2020大会終了後から**1年の間保管し、組織委員会が求める場合はこれを提出**しなければならない。

- 苦情申立があって初めて、書類を確認する？
- そもそも、東京大会のマーケティングルールが非常に厳しく、誰がどんな物を納入したか、といった情報自体が公開されるかどうかさえ決まっていない
- 公開されない場合、情報が何も無ければ、苦情申立さえできない



レガシー：持続可能なパーム油とは？



インスタントラーメン業界で国内初！

日清食品 関西工場で持続可能な「認証パーム油」の使用を開始

日清食品ホールディングス株式会社（社長・CEO：安藤 宏基）の事業会社である日清食品株式会社（社長：安藤 徳隆）は、滋賀県栗東市の関西工場において、インスタントラーメン業界では国内初となる「認証パーム油」の使用を2019年3月より開始しました。



パーム油は、アブラヤシの果肉から採れる油脂で、インスタントラーメンを製造するうえで不可欠な原材料です。一方で、農園開発のための熱帯林伐採による生態系の破壊、児童労働や農園労働者の人権侵害など、地域環境や社会に与えるさまざまな問題を抱えています。

日清食品グループは、2007年5月に「グリーン調達基本方針」を制定し、環境に配慮した原材料の調達を推進しています。また、2017年9月にはサステナビリティ（持続可能性）への配慮を強化した「日清食品グループ 持続可能な調達方針」を制定しました。この方針に基づき、日清食品ホールディングスは、2017年10月より「RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）」に加盟しています。

■ 株式会社明治

明治グループは、2016年にRSPOに加入し、2023年度までにRSPO認証パーム油への100%切り替えを目指しています

■ 日清食品HD株式会社

2019年から、関西工場でRSPO認証油の使用開始

■ 味の素株式会社

2020年度までに100%持続可能なパーム油の調達実現を目標に毎年進捗をウェブ公開

https://www.meiji.com/csr/procurement/#procurement01_02

<https://www.nissin.com/jp/news/7697>

https://www.ajinomoto.com/jp/activity/csr/pdf/2018/SDB2018_P90-93.pdf

レガシー：持続可能なパーム油とは？

RSPOにより達成できるSDGs (RSPO Impact Report2016より)



さいごに

- ◆ 木材・紙・パーム油が森林破壊の原因となる可能性がある
- ◆ 東京大会の調達コードは、持続可能性を全く担保できない
- ◆ パーム油は温暖化に直結する問題
- ◆ 環境面／社会面に配慮した原材料調達は必須

A photograph of a young elephant lying on its side in a grassy field, looking towards the right. Three children are sitting on the grass next to the elephant, looking at it with interest. The background is a dense forest with many trees.

Together Possible!